

プログラム

開催日時：令和5年12月19日（火） 13:00～16:30

時間	内容		
13:00-13:15	開会挨拶及び事前説明（環境省、事務局）		
< I 部：ピッチ事業者プレゼンパート >			
時間	講演者	環境省事業採択課題名	概要（ピッチ事業者による説明）
13:15-13:30 （うち質疑5分）	ユニ・チャーム株式会社	使用済み紙おむつの再資源化技術開発	当社は使用済み紙おむつのリサイクルに取り組み、再利用可能な材料を取り出し、新しい紙おむつをつくることを目的としています。この取り組みにより、廃棄物削減や資源を有効に活用しています。現在、鹿児島県で実証実験を行い、リサイクル材を使用した紙おむつを介護施設に販売しています。今後、2030年までに10以上の自治体に導入することを目標にしています。
13:30-13:45 （うち質疑5分）	株式会社イーアイ	飲料容器を対象とした低コスト人間支援型AI自動選別ロボットの開発事業 AI・IoTを活用した収集運搬車の自動配車システムに関する技術開発と実証事業	当社が開発する「AI自動配車システム」は、物流業界の課題である多頻度小口輸送の効率化と2024年問題に対応するため、AIによる最適配車ルートの計算と、勤務時間・CO2排出量等の管理を実現するSaaS型ソリューションの構築を実施しています。小規模業者でも気軽に安価で便利に利用できるSaaSシステムを目標とし、物流の効率化イノベーションを目指しています。
13:45-14:00 （うち質疑5分）	オーミケンシ株式会社	セルロースナノファイバーコンポジットの実用化	当社が開発しているセルロース複合体「MAGNATURE」は、100%木質パルプでできた紙素材です。海洋ゴミになるプラスチックも、健康リスクのあるPFASも一切使っていません。高度な耐油性やバリア性を持ち、かつモノマテリアルだからリサイクルも、土や海水中での生分解も可能です。人にも地球にもやさしい、容器包装素材の新しい選択肢です。
14:00-14:15 （うち質疑5分）	株式会社安井建築設計事務所	地中熱、太陽熱を直接利用する躯体スラブ蓄熱放射冷暖房システムに関する技術開発事業	躯体スラブ蓄熱放射冷暖房システムは、建物床スラブに金属強化ポリエチレン配管を埋設して冷暖房を行うシステムです。冷房15℃、暖房30℃の冷温水で冷暖房ができるので地中熱や排熱を直接活用できます。またヒートポンプを熱源とする場合も大きな効率向上が期待でき、ZEB実現に貢献が可能な技術です。さらに、既存建物用として配管冷暖房システムも開発しています。
14:15-14:30 （うち質疑5分）	株式会社サニックス	商用電動車向け高効率発電蓄電システムの開発・実証	G7札幌（2023年4月）で採択された共同宣言「保有車両からのCO2排出量の削減」に向け、当社は「商用電動車向け高効率発電蓄電システム」とこの装置を搭載するEVトラックの技術をベースに「レトロフィット可能なトラック電動化改造メーカー」として、既存の車両を改造し、電動化する取組みを推進しています。
14:30-14:45 （うち質疑5分）	株式会社マリンエナジー	インテリジェント吸波式波力発電による地域経済循環ビジネス	環境省の委託事業を活用し、岩手県の釜石港湾口防波堤に振動水柱型波力発電装置を後付けする世界初の試みにより、システムの発電性能、設置位置の消波効果と長期運転信頼性の確認ができました。

		モデル実証事業	今後の実用化に向けて、技術課題の解決及びコスト低減について、可能性検討及び市場調査を進めるべく、取り組んでいます。
14:45-14:55	休憩		
< II 部：個別商談会パート >			
時間	内容		
14:55-16:25	個別商談会		
16:25-16:30	閉会（事務局）		

※ 本プログラムは予定であり、内容は変更される可能性があります。